

七月二十五日

八時起床。夢を沢山みたようだが、忘れてしまった。九州に帰った野本君まで出てきたような気がする。忘れた。八時四十五分朝食を終え、丹羽君にFAXを送り、一息ついている。現場を見た限りO邸は良い建築になるかも知れない。サイトとのスケールがピッタリである。九時二〇分現場。四〇分、又ホテルに戻り、三菱電機、屋根屋さん、アトム部長さん等と打ち合わせ。十一時迄。十一時半昼食。ロビーでバツタリ、宮崎の現代つ子センター藤野夫妻と出会う。全くの偶然で、双方仰天。夫妻は福岡市立美術館から何か賞のようなモノをいただいたらしく、それで今、市長さんのところに出掛ける為、このホテルにチェックインしたところだった。夫妻共お変わり無く、お元気そうだった。十三時、竹中工務店、三菱地所、お茶を飲みながら会談。十四時三〇分福岡空港。中国とのやり取りで大ドタバタがあった。Mr.Kが今回、来日しないとか、結局羽田に十七時過着いてみれば、K氏はすでに東京着。新宿Pホテルに在室しているのだった。全く不可解なドタバタであった。何が原因なのか解らない。

十八時過、新宿PホテルでMr.Kと会う。香港以来である。アメリカ、ヨーロッパと廻り、東京に着いた。四十一階で打ち合わせ。彼はアメリカで資金の問題をクリアしたようだ。四〇階の和食レストランでMr.Kグループとくつろいでいる内に二〇時頃西安、香港、台北、東京の李祖原&アン、ホテル到着。会食に合流。Mr.Kは、つい先だって日本の小泉政権にドタキャンしてサヨナラし

て帰国した女性副首相の身近な人だし、中国政府と強い関係を持つ人間の一人なので、仲々、大変なんである。台湾国籍の李祖原も大変だろう。別に面白がっているわけではない。ここまでくると、キリキリしてしまうのだが、何とか持ちこたえたい。二十三日前散会。世田谷村二十四時半頃戻る。

七月二十六日

十時半Pホテル。十一時李祖原、Mr.Kと総体的な打ち合わせ。石山としては、早稲田サイエンス&ビジネス研究所にこのプロジェクトの何がしかの、イニシアティブを取らせるとオーダー。中国大陸との関係に対するセオリーとビジョンは我が国の将来のスタイルを決めてしまうから。十二時、山田脩二、研究室の渡辺君四十一階に来るも、時間を割けず、申し訳なし。その後、Mr.Kのオペレーションで車で渋谷に昼食に出掛ける。どじょうを食して、HOTELに戻る。十七時A社、Y氏、W氏とマネージメントの件でミーティング。Mr.Kは直球を投げて、スーパーハードなネゴシエーションの幕が切つて落とされる。日本の企業で、力を尽くして立ち向かえるところがあるのかをいぶかしむが、私も腰を据えぬと。十八時了。流石に全員、エネルギーを使い果たして、今日は散会。二〇時前世田谷村に戻る。今日は神経と頭を使い果たたという感じだ。情けない。しかし、李祖原もMr.Kも同じ位にハードなのだろう。